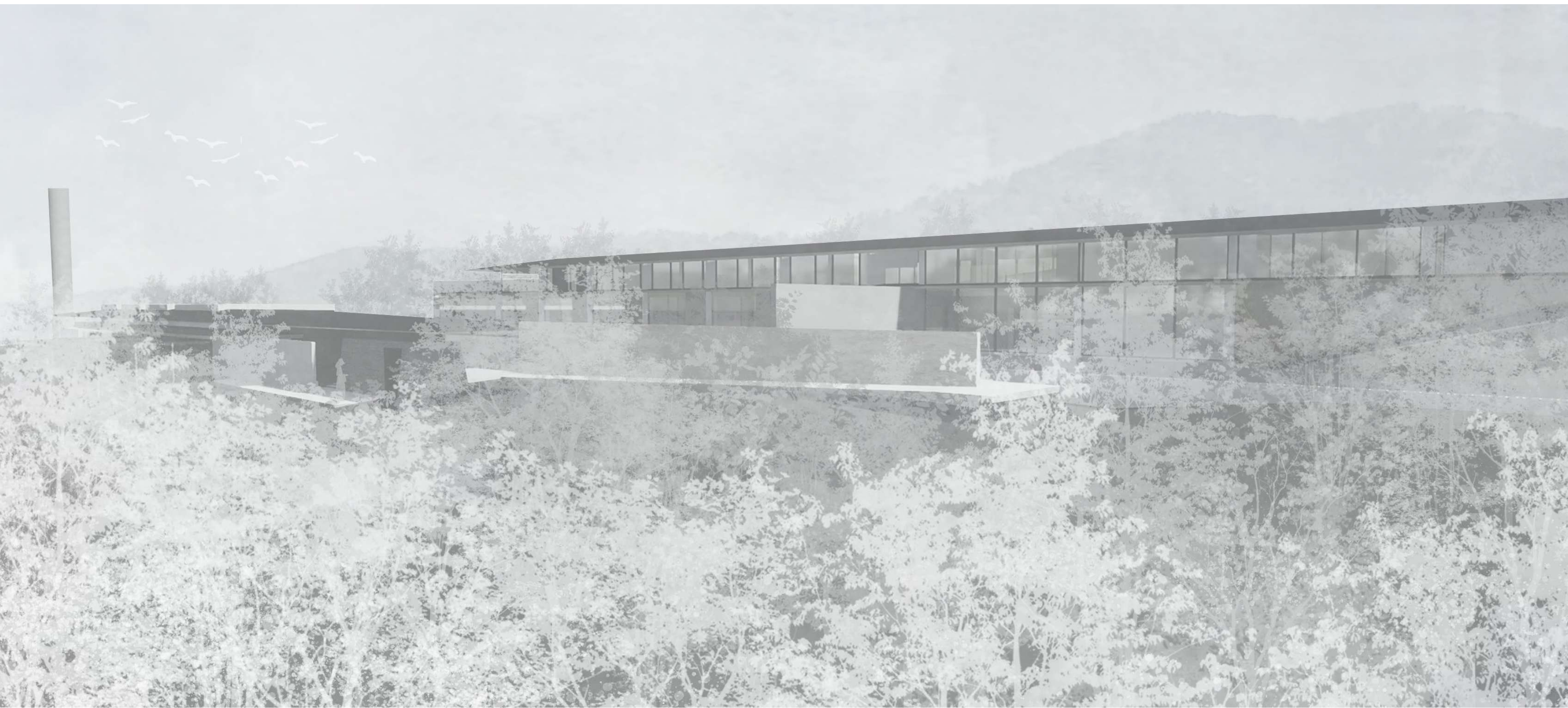




筆 紡

— 葬 儀 を 終 え て —

葬儀を終えると張り詰めていた心の糸がゆるむ、これから現実を受け止めていかなければならない

筆をとり、故人への思いを手紙に紡ぐ

書くという行為の中で自己と対峙し、気持ちを整理することができるのではないだろうか



筆炉棟 北西立面図 S = 1:140



宿泊棟 南東立面図 S = 1:210

01

背景
Background

Cause I

「高まる遺言への関心」

Cause II

「葬式後の気持ち整理」

遺言公正証書の作成件数の推移

日本公証人連合会の統計によると年間の遺言公正証書(自筆証書遺言ではないもの)作成件数は年々上昇しており、人々の遺言への関心が高まっていると考えられる。

遺言公正証書の作成件数の推移

年	H23	H24	H25	H26	H27	H29	H30	R1	R2
件数	78,254	88,118	98,028	104,490	118,278	101,200	110,471	113,137	97,260

遺言公正証書の作成件数の推移

遺言公正証書の作成件数は年々増加傾向にあり、人々の遺言への関心が高まっていると考えられる。

遺言公正証書の作成件数の推移

遺言公正証書の作成件数は年々増加傾向にあり、人々の遺言への関心が高まっていると考えられる。

02

提案
Proposal

筆紡

「葬儀を終えて、筆をとり、己と対話する建築」

遺言の整理

近年葬参りは減少し、日本のファスト社会の中で暮らす人々にとって、死について考える機会は少なくなっているように感じる。葬儀を終え、身近な人の死を感じたいま、**自分自身の最期のかたちを言葉にして表す**ことができるのではないだろうか。

故人に紡ぐ手紙

気持ちの整理がつかないお葬式後、社会から離れた森で、自己とゆっくり対話し、筆をとり、故人への言葉を手紙につづる。自己との対話、書くという行為の中で、**死別を受け止め、故人とのこれまでを振り返り、気持ちを整理することができる**のではないだろうか。

03

コンセプト
Concept

Low-key

「ローキー写真」

全体を暗く沈んだ画面にすることで、わずかにある明るい部分をより強調した写真。写したい部分の強調は、書きたい思いの強調として、自己と対話する建築に相応しいと考えた。

零囲気＝静寂

自己との対話で、紡ぐ思いを強調できるように、**ノイズを抑え、森の静けさに溶け込む建築。**

全体構成＝重厚

お葬式で張り詰めていた心の糸が緩む人々の気持ちに**寄り添い迎え入れる、落ち着いた建築。**

被写体＝孤独

利用者は、写真の被写体のように、**孤独に一人で思いを巡らすことができる空間構成・スケール。**

04

計画敷地
Site

鳥取県

鳥取市八坂

いなば霊園に隣接する計画地

計画敷地は鳥取県鳥取市八坂とした。鳥取市中心市街地から南に6kmほどの敷地である。周辺は緑豊かで閑静な場所、隣接する公営の霊園内には火葬場を含む斎場と約1100区画の墓地がある。



B-B' 断面図 S = 1:210

05 プログラムフロー

Program flow

葬儀
Funeral

受け入れ
accept

対峙
Confrontation

遺書
遺言

保管
Storage

休息
rest

日常
Daily

鏡としての水

書くという行為

06 必要機能の選定

Selection of function

■受け入れ	■対峙	■保管	■切り替え	■立ち直り	■休息
・死泉（水盤）	・個の間 （執筆空間）	・書蔵	・前室 ・燃焼炉	・集灰室 ・散灰の森	・宿泊棟 ・風呂

■鏡としての水

万物の根源である水に映り込む木々と建築。その様子が大切な人を失った悲しみの受け皿となる。敷地内の水盤は、故人の死を迎え入れてくれる場所。穏やかで深く、静かな水は、人々に自分自身の姿を送り返し、それを断片的に垣間見せてくれる。

■書くという行為

書くことはとても孤独な行為であると思う。自己と対峙する先にある、筆をとり自分の手で書く時間では、過去の自己と未来の自己との絶え間ない対話が生まれるのではないだろうか。

■循環する森と灰

燃焼した手紙の灰を自らの手で集め森に散灰する。故人への言葉をも燃やした煙は煙突から霊園へ、灰は森の木の養分となり新たな森を形成していく。

07 配置計画

Placement plan

08 素材

Material

コルテン鋼	県産材	RC	米待石
-------	-----	----	-----

09 構造ダイアグラム

Structure diagram

屋根
ガルバリウム鋼板
・雨音を取り込む屋根とした
・敷地に馴染む緩やかな勾配

2階構造
県産材＋S構造
・ボリュームを抑えた天井
・木目の美しい連続梁

1階構造
RC＋コルテン鋼
・重厚感ある1階空間

基礎構造
コンクリート基礎

